

成果指標				
成果指標	活動事業費補助金交付申請団体数/団体総数×100			
指標設定の考え方	活動事業費補助金交付申請団体数の割合が上昇することで、自主防災組織の活動の活性化が測定できる。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	40	40	40	40
実績	26.6	26.6	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	市民の防災意識が高まるなか、自主防災組織の活性化と防災士の育成は急務である。引き続き、自主防災組織活動支援事業費補助金活用の周知啓発に努めるとともに、防災士の育成強化を促進させる必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	市民の防災意識の高揚の反面、自助や共助の意識が高まっているのか懐疑的である。訓練実績の見られない自主防災会があるほか、活発であった自主防災会の活動にも息切れ感があるように感じられる。自主防災会へのカンフル剤とする意味合いからも、今年度、総合防災訓練のあり方を自主防災会主体に変更した。防災士の養成や防災会活動に対する補助の内容の改善など総合的な観点で自主防災会の活性化策を考えていかなくてはならない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。
意見、課題	一次評価の課題認識のとおり、東日本大震災以降、防災気運が高まっているが、一時的なこととならないよう、持続性を持たせる施策立案が必要である。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	さらに重点化する。
意見、課題	